

# 週 報

日本キリスト教団

みなみやま

## 南山教会

<年間聖句>

「あなたの未来には希望  
があると主は言われる」

(エレミヤ書31章17節)

<年主題>

未来の希望を信じて歩む



Since 1947. 8. 1. 創立78周年

〒470-0111

愛知県日進市米野木町南山983-16

(愛知牧場内)

牧 師 村山盛芳

伝道師 大塚 勁

伝道師 大塚 棕

TEL 0561-73-6781 FAX 0561-76-3005

教会メールアドレス minamiyama@mb.ccnw.ne.jp

HP www.mb.ccnw.ne.jp/minamiyama/

先週の説教から

「おうさまはどんなひと」

サムエル記上 16章1節～13節

今日の聖書の箇所、ダビデがまだ少年時代の頃の話です。年若い少年ダビデが、将来の全イスラエルの王として立てられる、そもそもの発端が語られています。預言者サムエルは、イスラエルの王としてふさわしい人物を捜すように、神から命じられます(1節)。その際に併せて、留意事項が示されています(7節)。

ここでサムエルに語られる、神の言葉の中で、最も注目されるのは「主は心によって見る」という言葉です。単純に読めば「神は人間を外見ではなく、心を見ようとする」という意味だろうと私たちは考えます。口語訳聖書では、「心を見る」と訳されていました。ところが新共同訳は「心によって見る」と幾分、ごちない訳し方をしています。それはいわゆる「心を見る」、客観的に「心」を観察するというような単純な文章ではないことを、読者に伝えたいからです。心(レーヴ)の元々の意味は「心臓」です。しかし、他の箇所では「はらわた」と対にして語られることが多いのです。はらわた(キルヤー)は本来「腎臓」を表します。つまり「レーヴ」と「キルヤー」の2つ併せて「腹」そして「腹の中」を指すのです。「神が心によって見る」とは、その人の心が、「良いか悪いか」、「善か悪か」、「嘘か真か」を識別するというものではありません。神は、私たちのほんとうをご覧になられる。そしてそのほんとうをご自分のものとしてくださる。私たちのほんとうと、一つになってくださる、ことなのです。

神は、年齢、能力、才能などでおうさまをお選びになるわけではありません。人の良し悪しでもなく、私たちのほんとうのこと(腹の中)をはっきり見てくださり、必要に応じて用いてくださるのです。ダビデも完全な人間ではありませんから、失敗もします。神は、ダビデのほんとうを見て、王として用いようとしたのです。私たちも、神に良いところを見てもらおうとするのではなく、全てを知っておられる神と一緒に歩みましょう。(村山盛芳)

11月14日・11月13日 日曜礼拝 10時開始  
21日00

礼拝のついでに

前 奏

頌 栄 112 (栄光の歌)

主の祈り 111 - 112

聖 書 111 (サムエル記上 16章)

(旧約 11 回)

讃美歌 111 (聖霊の歌)

祈 禱

同 様

説 教 「主は心によって見る」

祈 禱

大塚 勁 司

今週の誕生祭のたのしみ

讃美歌 111 (おめでとう)

献 金 111 (おめでとう)

頌 栄 111 (父の御名)

祝 詞

後 奏

… 聖 歌 …

21日の日曜礼拝QRコードはこちら  
21日の日曜礼拝QRコードはこちら

